医療経営士ニュース｜これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙
MMS NEWS
2026 9月号
Vol.187
毎月1回発行（通巻187号）
編集：日本医療企画
一般社団法人日本医療経営実践協会　〒104-0042　東京都中央区入船3-8-7　ザ・ロワイヤルビル５階　TEL.03-3553-2906　http://www.JMMPA.jp/

第15回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会・演題発表登壇者決定!

18名の医療経営士が登壇し現場での実践の成果を報告

11月21日・22日に開催する第15回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会の演題発表に登壇する医療経営士が決定した。今大会の演題発表の概要とともに、その顔ぶれと発表テーマを紹介する。

優秀な発表に対しては奨励賞ほか各賞を授与

全国で活躍する医療経営士による演題発表は、一人ひとりの医療経営士がそれぞれの現場でどのように考え、動き、結果を出してきたのかという実践内容を発表いただく場だ。今大会では男性12名、女性6名の計18名の医療経営士が登壇する（2面表参照）。発表テーマは「医療経営士による病医院経営改善・改革取り組み事例・具体的実践方法」。さまざまな立場の医療経営士がそれぞれのフィールドで実践してきた取り組みについて、発表していただく。

各発表は質疑応答を含め20分で行われる。発表後、吉長成恭氏（一般社団法人日本医療経営実践協会理事）を審査委員長とする審査委員会によって審査が行われ、受賞者には大会運営委員長より賞状と記念品が贈呈される。

審査基準は前回大会と同様、①プレゼンテーションの完成度、②実現の可能性、導入のしやすさ（汎用性）、③リーダーシップ、実行力・完遂力、④改善の効果、インパクト（影響力）の大きさ、⑤ユニークさ、創造性、イノベーションの度合い――の5つとなっている。

審査委員が特に発表および研究内容が優れていると認めた発表者に対しては「審査委員奨励賞」が授与されるほか、特筆すべき内容があったと認められる発表に対しては特別賞を設けることとなっている。前回大会においては「審査委員奨励賞」が3名選ばれ、審査委員長の吉長氏も「独創性と実装力、さらに中長期的な波及効果の観点から、他の模範となる優れた到達点を示すもの」だと高く評価した。発表される方には、ぜひ受賞を目指していただきたい。

また、吉長氏は演題発表の意義について、昨年の大会後に発刊された会報誌『理論と実践』のなかで、「大会で共有された成果が医療経営士同士のネットワークを通じて全国へと波及し、日本の医療が抱える構造的課題の克服に寄与することを期待したい」と述べている。演題発表は会場での発表で終わるのではなく、発信内容を医療経営士がそれぞれの現場で実践し、よりよい医療経営に寄与していくことがゴールである。今大会の演題発表から、医療経営の新たな潮流が生まれることを期待している。

異なる立場からの視点が自身の成長につながる

昨年、一昨年と1名のみとなっていた企業からの登壇者は今大会では2名がエントリー。医療機関の登壇者を見ても、勤務先は中核

昨年の神奈川大会で審査委員奨励賞を受賞した、（写真左から）歌大輔氏（社会医療法人三車会経営事業室室長）、尾﨑誠氏（長崎大学病院病院長）、千葉瑛斗氏（医療法人渓仁会定山渓病院経営管理部経営管理課主任）

第15回 全国医療経営士実践研究大会 東京大会
開催日 2026年 11月21日土 22日日
大会テーマ 地域とともに歩む社会性豊かな医療の実現
――病院経営が危機的状況にある今こそ、医療経営士は一致団結し、使命感を持って地域医療の崩壊をくい止めよう！
会場 ステーションコンファレンス東京
参加申込は大会特設サイトから受付中
【お問い合わせ先】 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 ☎03-3553-2906 taikai@jmmpa.jp

都市の大学病院から地方の中小病院までさまざま、職種・役職もそれぞれ異なっており、幅広い知見を聞くことができるだろう。

医療経営士が活躍する現場は、決して病院の経営部門に限るわけではない。医療経営士の資格を取得された方のなかには、「経営に関連する部署がないので活躍できない」「自分の学んだことを活かせる部門がない」と考えている方もいるかもしれないが、重要なことは「学んだことを今自分がいる場所でどう活かすのか」という視点である。

今回登壇いただくのは、その視点を持って、自分が今いる場所で医療経営士としての力を発揮してきた方々だ。その発表を聞くことで、自分自身が今いる場所で何ができるのか、学んだことをどのように活かせるのかを、改めて考える機会としていただきたい。

会場での登壇のほかにオンライン発表も

当初は2日間の大会内で16名の枠を用意していたが、想定以上の方にお申込みをいただき、登壇枠を18名に拡大。それでも入りきらない数のエントリーがあり、今大会における会場での発表に関しては、より多くの医療経営士に機会を与えたいということから、これまでに登壇経験のない方の発表を優先させていただいた。

枠に入り切れなかった方については、会場での登壇とは別に、オンラインでの発表枠を設けさせていただくこととなった。形式としてはコロナ禍に開催したWEB大会と同様、事前に収録いただいた発表動画をWEB上に掲載、大会参加者には視聴用のURLを送付する。

WEBでの公開は大会の1週間前を予定している。当日、会場に参加される方はぜひ事前にご視聴いただきたい。

演題発表者と演題タイトル一覧（50音順・敬称略）

発表者名	所属機関・役職	支部	等級	演題タイトル
赤星 衣美	長崎大学病院外来・看護師	九州	2級	重要レポート見逃し「0」への取り組み
雨宮 和美	社会医療法人加納岩 加納岩総合病院事務部副部長	関東	3級	紙カルテから生成ＡＩ活用へ ――情報サービス課14年の歩みと業務拡大・経営参画への取り組み
荒井 由紀子	株式会社メディリリーフ 代表取締役	関東	2級	ERマネジメントを担う 病院救急救命士組織への変革 ～共有ビジョンの生成とリーダーシップ発揮を支援する組織開発の実践～
伊藤 大介	医療法人ケイ・アイ オホーツクリハビリテーション病院 リハビリテーション部部長・理学療法士	北海道	3級	行政委託終了を契機とした 地域介護予防事業の再構築 ――専門職機能の地域実装を再設計した医療経営士の実践
伊豫谷 徹	社会医療法人景岳会 南大阪病院医事課主任	関西	3級	RPAと生成AIを活用した医師事務作業補助者による診療情報提供業務の標準化と課題
小倉 健太朗	社会医療法人加納岩 山梨リハビリテーション病院 庶務課主任	関東	3級	異動から見えた組織変革のポイント
太田 一道	医療法人財団愛泉会総務課課長	東海	2級	2,000超のマニュアルを、使える形へ ～中小病院で実践した低コスト情報ＤＸ～
小泉 慎一郎	浜松医科大学医学部附属病院 医療安全管理室特任准教授	東海	3級	地域とともに守る、地域とともに学ぶ ――医療安全ネットワークが育む新たな地域医療経営モデル
清水 祐樹	ＪＡ静岡厚生連中伊豆温泉病院 理学療法科主任	東海	3級	医療経営士が調整役となり推進した 組織縦横断的な経営改善の取り組み
竹内 広幸	社会医療法人大成会 福岡記念病院院長特別補佐、救急科・麻酔科部長	九州	1級	医師大量離職後の救急外来再建 ――組織と人材の「強み」に着目した経営改革
土倉 嘉之	医療法人財団博仁会 横田記念病院管理部事務長	北陸	2級	小規模病院における補助金を活用した 段階的なサイバーセキュリティ対策とDX化の実践事例
戸塚 雄介	聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室係長	関東	2級	レピュテーションリスクもヘッジする ～医療安全部門における「OODAループ（高速意思決定のためのフレームワーク）」4年間の取り組み～
虎谷 知樹	株式会社イノメディックス 営業本部営業企画戦略室 分析企画グループ長	関東	2級	ＡＩエージェントを用いた 医療オープンデータの可視化と医療機関へのＡＩの普及活動
早川 真由美	東京女子医科大学病院病院 事務部次長	関東	2級	ペイシェントハラスメント対応体制の構築と運用に向けた組織的取り組み
林　真明	白山石川医療企業団 公立松任石川中央病院 総務部医療サービス課係長	北陸	3級	医療ＤＸの狼煙を上げよ！ スマートフォンＰＨＲアプリを活用した「全患者ナビゲーション」の構築と紙運用廃止に向けた挑戦～新病院移転を見据えた「迷子ゼロ」と「生活時間の最大化」～
藤原　杏	東京医科大学病院 経営企画室事務書記	関東	3級	幹部と現場をつなぐ「診療科ミーティング」の構築――データに基づく意思決定と課題管理の組織化
松原　徹	医療法人社団輝生会 本部回復期生活期支援部 統括部長	関東	3級	特定施設における保険外リハビリテーション事業の拡大と収益性 ――7年間の実践からみた事業モデルの可能性
宮腰 恵理子	医療法人社団翠会 本部経営改善支援室主任	関東	3級	精神科クリニックにおける音環境改善が患者体験向上に与える影響――自作BGMを活用した低コスト環境改善の実践研究

※9月15日現在　等級は医療経営士資格等級。演題タイトル等は変更になる可能性があります

最新医療経営

最新情報を踏まえ新たな病院像を描く
「経営の時代」の羅針盤
PHASE3 フェイズ・スリー

10月号 好評発売中

特集 危機的な病院経営を改革した手腕
―― ゼロベースで経営を見直す ――

大型補正予算や2026年度診療報酬改定により、病院経営に明るい兆しが見えつつあるが、それだけでは病院経営の長期的な改善は難しい。公益社団法人全国自治体病院協議会が7月16日に発表した「会員病院の2025年度決算状況調査結果」（速報）によると、有効回答485病院のうち404病院（83%）が赤字で、赤字病院の割合は前年度比６ポイント減少した。病院経営においては、常日頃から、スタッフの意識改革や病床運営、コスト削減への取り組み、DXなど、さまざまな取り組みが欠かせない。本特集では、危機的な病院経営を改革した病院経営者の取り組みや識者の視点から、改めて見直すべきポイントを読み解く。

詳細・ご購入はコチラ

【お問い合わせ先】株式会社日本医療企画　☎03-3553-2885　http://www.jmp.co.jp

支部NEWS

関西支部

第42回関西医療経営勉強会

経営のV字回復を成し遂げた病院長の手腕から課題への向き合い方と組織づくりの肝を学ぶ

日本医療経営実践協会関西支部の関西医療経営勉強会（世話人代表：前田哲氏／西宮協立脳神経外科病院）は9月12日（土）、42回目となる勉強会をオンラインで開催した。60名以上が参加した勉強会の様子をお伝えする。

現場の課題を丁寧にすくい上げ 安心して働ける職場づくりに注力

2017年4月に設立して以来、コンスタントに活動を継続している関西医療経営勉強会。これまでの勉強会の開催回数は神奈川研究会に次いで２番目に多く、関西圏の医療経営士活動の拠点として重要な位置を占めている。

第42回となる今回の勉強会は社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院院長の大久保和俊氏を講師に招き、「急性期病院の現場を支える組織づくり～新米院長が経験した課題とその向き合い方」として開催された。京都桂病院は京都市西部に位置する551床の急性期病院。大久保氏は2024年に院長補佐、25年4月より同院院長に就任。23年に7億円の赤字だった同院を25年には２億円弱の黒字に転換させている。その手腕への関心の高さもあってか、60名を超える参加者が集まった。

大久保氏は院長就任当初、切迫した経営状況に加え、幹部職員間の意見の食い違いや部署間の不満・不平等感、ハラスメント、人手不足等の山積する課題に直面し、「もともと組織横断的な活動の少ない泌尿器科の臨床医として歩んできた自分にとって、組織運営は手探りの連続だった」と述懐。それでも、まずは職員との対話を通じた課題の整理から取り組み一つひとつ問題を解決していったと話し、具体的に行った内容を紹介した。

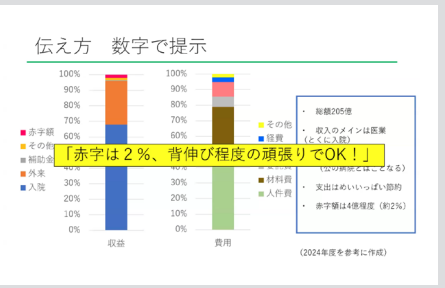
また今後も大きな課題となる人手不足への対策として大久保氏は、「『戦うべき相手は病気、人手不足、厳しい医療情勢であって、職員ではない』という前提を職員にしっかりと伝え、職員同士が消耗し合うような内輪の争いを固く禁じている」とし、そのうえで「職種間の業務のスキマを埋める働きをきちんと評価して働きやすい環境づくりを促すとともに、ハラスメント研修の定期開催によって健全な風土づくりを進めている」と強調。さらにクラウドファンディングによるホスピタルアートの制作や地域住民も巻き込んでのイベント開催を通して職員間の連帯感を高め、将来的な医療人材の確保や病院のブランディングにつなげているという取り組みも紹介した。

相手に伝わる言葉で想いを伝える 院長としての心構えを説く

最後に、院長となってからの１年を振り返って思うこととして「職員一人ひとりに伝わる言葉で想いを伝えることの大切さを実感している」と述べた大久保氏。「先輩の院長先生から『院長業の8割は挨拶』と聞いていたがその通り。院内報の文章や部長会などでの発言、一つひとつの機会に心を込めて、組織の方向性を繰り返し示すことが、私の重要な役割であると感じている」と話した。

講演後に行われた質疑応答では参加者からの質問が引きも切らず、「地味な業務、キャリアアップにつながりにくい作業を行う職員の動機づけの工夫」「部分最適と全体最適は必ずしも一致しないと思うが、そのような場面に対処する際に気を付けていること」といった、現場の具体的な状況を踏まえた質問も多く寄せられた。

その一つひとつの質問に対して大久保氏は時間ギリギリまで丁寧に回答。その誠実な人柄も含め、参加者にとって非常に学ぶことの多い貴重な機会となったのではないだろうか。



職員に自分事として捉えてもらうため、イメージしやすいように数字を提示し、意識改革を促した事例を紹介

医療介護従事者のための賢い資産運用セミナー

～物価高騰時代の新NISAやiDeCoの活用法～

■講師：
半田真凡
（ふたばフィナンシャル株式会社）

行政機関で教育委員会、企画、国民健康保険業務に携わった後、国内大手生命保険会社を経て、現在はふたばフィナンシャル株式会社にてFP・経営コンサルタント業務に従事。社会保障やマネー、ライフプラン、住宅、保険をテーマに年60回のセミナーを実施し、累計相談数は5,000人超。豊富な経験と知識をもとに、わかりやすく実践的な提案を心がけている。

セミナープログラム
- 医療介護従事者のベストな資産運用術
- なぜ資産運用が必要なのか
- iDeCo・新NISAの活用ポイント
- 資産運用の始め方／投資信託とは?
- ライフプランの本質
- プロがやってる資産運用方法

■日時：9月29日（火）20時～21時
■形式：オンライン　■参加費：無料
■株式会社日本医療企画
■アクサ生命保険株式会社

【お問い合わせ先】株式会社日本医療企画九州支社　担当：上津原　☎ 092-418-2828　✉ y-uetsuhara@jmp.co.jp

事務局掲示板

第15回「全国大会」東京大会のポスターが完成
掲示していただける会員の方を募集中！

第15回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会のポスター（B2サイズ）が出来上がりました。こちらを掲示していただける会員の方を募集します。イラストは今回もあおきてつお先生に描いていただきました。ご希望の方は「全国大会ポスター希望」と件名をつけ、お名前、認定登録番号、送付先住所、必要枚数を明記の上、下記メールアドレスまでご連絡ください。

【ポスターのお申込み】
E-mail：taikai@conference-jmmpa.jp

会報誌『理論と実践』投稿募集中
自分の声を会員に届けよう

当協会が発行している会報誌『理論と実践』では、会員の皆さまからの投稿を募集しています。日頃の職務における疑問や悩み、業務改善へ向けたアイデア、病院経営や医療政策・制度に関する論文や問題提起等、内容は自由です。採用原稿については薄謝を進呈いたします。お気軽にご投稿ください。

【投稿に関するお問い合わせ先】
E-mail：info@jmmpa.jp

PICK UP研究会

関西支部

医療経営士 滋賀・京都研究会が初の勉強会を開催
「三現主義（現場・現物・現実）で挑む管理会計の実践」

滋賀・京都地区における医療経営士の実務的な情報交換および交流の場として、今年1月に設立された医療経営士 滋賀・京都研究会は10月17日（土）、初めての勉強会を開催します。同研究会の代表は社会福祉法人恩賜財団京都済生会病院診療情報管理室の酒井利明氏。医療経営士が日常業務の中で感じている課題や工夫、資格の活かし方等について少人数で率直に意見交換を行うことを目的としており、酒井氏は「滋賀・京都という地域に根ざしながら、医療経営士一人ひとりが自分のペースで学び、つながれる研究会」を目指したいと抱負を語っています。

記念すべき第1回勉強会のテーマは「三現主義（現場・現物・現実）で挑む管理会計の実践～医療経営士として実践する人件費・材料費高騰への対策～」。講師には元メディプループ有限会社代表取締役の足立憲氏をお招きし、管理会計をどのように病院経営に活かしていくのかについて、実践的な視点からお話しいただきます。

勉強会終了後には懇親会も開催します。懇親会のみの参加も可能です。滋賀・京都エリアの会員の皆さま、ぜひご参加ください。

【開催概要】

■日　時　2026年10月17日(土) 14:00～15:40　※終了後懇親会開催予定
■会　場　スズケン京都支店（京都市南区東九条南石田町70）
■テーマ　三現主義で挑む管理会計の実践
　～医療経営士として実践する人件費・材料費高騰への対策～
■講　師　足立 憲（元メディプループ有限会社代表取締役）
■参加費　無料　※懇親会は有料
■主　催　日本医療経営実践協会関西支部 医療経営士 滋賀・京都研究会
■お申し込み・お問い合わせ
　日本医療経営実践協会関西支部 医療経営士 滋賀・京都研究会事務局
　担当：酒井利明　E-mail：sakaihim@yahoo.co.jp

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
9月29日（火）	本部後援	医療介護従事者のための賢い資産運用セミナー 「物価高騰時代の新NISAやiDeCoの活用法」	半田真凡 氏（ふたばフィナンシャル株式会社）
10月3日（土）	東海	第4回 人生100年時代 健康とお金　ACP人生会議	中村俊介 氏（株式会社わっか代表取締役／薬剤師） 若山正芳 氏（FP若山事務所AFP（日本FP協会認定））
10月9日（金）	本部後援	医療機関の情報セキュリティ対策セミナーin大阪 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン7.0版解説セミナー」	田中勝弥 氏（国立がん研究センター情報統括センター長）ほか
10月9日（金）	九州	医療経営士南九州支局研修会 「人口動態を踏まえた医療DX関連施策からみる病院経営 ～地域医療構想、診療報酬改定、医療DX、情報セキュリティ～」	島井健一郎 氏（滋慶医療科学大学 医療科学部教授／ 厚生労働省健康・生活衛生局参与）
10月17日（土）	関西	第1回医療経営士 滋賀・京都研究会 「三現主義で挑む管理会計の実践 ～医療経営士として実践する人件費・材料費高騰への対策～」	足立 憲 氏（元メディプループ有限会社代表取締役・ 元滋賀県立総合病院経営顧問）
10月30日（金）	北海道	15th道北医療経営ネットワークセミナー 物価高騰時代の医療経営～コスト削減策と持続可能性を考える	髙玉敬洋 氏（株式会社システム環境研究所 主席研究員・ 元札幌厚生病院事務部長）

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

秋からの中途採用者の研修に最適！　オンデマンド職員研修講座シリーズ
好評配信中！
日本ヘルスケア経営学院 公開講座
新入職員研修／ミドルマネジャー研修 WEB講座
講座概要

●講師
石井富美氏
（多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長）
【新入職員研修WEB講座（全６回）】
●講義時間…各回約20分
●受講料…各回　:1,100円
3回セット　:2,750円
全6回セット　:4,950円
【ミドルマネジャー研修WEB講座（Ⅰ／Ⅱ）】
●講義時間…講座Ⅰ：約120分／講座Ⅱ：約90分
●受講料…講座Ⅰ：7,150円／講座Ⅱ：5,500円／
Ⅰ・Ⅱセット：11,000円
※講義終了後に内容の理解度が測れる「確認テスト」付き　※受講料はすべて税込
【お問い合わせ先】日本ヘルスケア経営学院 事務局（日本医療企画内）　☎03-3553-2862　https://hcmi-s.net/